

## 新規学卒者の採用枠拡大と求人早期提出を！

知事・労働局長・教育長が経済5団体に求人要請



来年春に卒業する高校生を対象にした求人が、6月20日から受理開始となるのを前に、6月5日、寺田知事・中西労働局長・根岸教育長が経済5団体（秋田県商工会議所連合会、秋田県商工会連合会、秋田県中小企業団体中央会、（社）秋田県経営者協会、（社）秋田経済同友会）に対して、新規学卒者の採用枠拡大と求人の早期提出を要

請しました。

要請には、この春秋田工業高校を卒業し潟上市にあるTDK羽城㈱に就職した杉本大樹さん、県内就職を希望する秋田商業高校3年武藤文花さんと、保護者の立場から秋田県高等学校PTA連合会伊藤会長も同席しました。

始めに、知事・秋田労働局長が各団体の代表者に要請書を手渡しました。その中で、若い人材を採用し育てることは秋田県の経済活性化と、活力ある地域社会の形成のために重要であり、若者が一人でも多く県内に就職できるよう、採用枠の拡大と求人票の早期提出についてお願いするとともに、非正社員から正社員への切り替えや、育児休業制度等の整備、出産等により退職された方の積極的な再雇用など労働条件の改善についても協力を求めました。

その後の懇談では、県内求人の減少や、県内求人よりも県外求人の方が出足が速いことなどによる若い人材の県外流出の問題や、職業講話や高校生のインターンシップなどの支援策について活発に話し合われました。

杉本大樹さんからは、「今の仕事は、高校に入る前から自分の中でこういう職種に就きたいと決めていた。覚えることがたくさんあって毎日大変だが、やりがいを感じている。」と希望どおりの職種に従事し、





新社会人として充実した日々を過ごしているとの話がありました。

また、武藤文花さんは「生まれ育った秋田が好きなので、県内で就職したいと考えている。(県内事業所は)1人でも多く採用していただきたい。インターンシップで行ったホテルの仕事にとっても魅力を感じたので、是非ホテルへ就職したい。」と現在の気持ちを率直に話されていました。

企業の皆様には、新規学卒者の採用枠拡大と求人票の早期提出、並びに非正社員の正社員化など魅力ある労働条件づくりに御理解、御協力をお願いします。

